



経済産業大臣賞は 堀井 雄二 氏が受賞

「ドラゴンクエスト」シリーズで日本のゲーム産業に貢献

社団法人コンピュータエンターテインメント協会

社団法人コンピュータエンターテインメント協会(略称:CESA、会長:和田洋一、所在地:東京都港区)では、ゲーム産業の発展に寄与した人物に贈られる「日本ゲーム大賞 2010 経済産業大臣賞」の受賞者を「ドラゴンクエスト」シリーズの“生みの親”であるゲームデザイナー、堀井 雄二氏に決定致しました。

また、同授賞式を本日、東京ゲームショウ 2010 イベントステージ(会場:幕張メッセ 8 ホール)にて執り行い、経済産業省より、堀井 雄二氏に賞状が授与されました。

経済産業大臣賞の決定理由は、以下の通りです。

- 日本を代表する作品「ドラゴンクエスト」シリーズで、多くのユーザーにゲームで物語を楽しむことを教え、ゲームの可能性を大きく広げるなど、日本のゲーム産業界を常に牽引されてこられた点。
- また、最新作「ドラゴンクエストIX 星空の守り人」では、“すれ違い通信”という新たな楽しみ方を提示。
延べ1億人を超える人々が、“すれ違い通信”に参加するなど、大人から子供たちまで、人と人がデータを通じてふれ合うことで、世代を超えた多くの人々にゲームの魅力を伝え、ゲーム産業界の発展に大きく貢献された点。

【堀井 雄二 氏 略歴】

1954年1月6日 兵庫県洲本市生まれ。

早稲田大学第一文学部を卒業後、雑誌、新聞などのフリーライターを経て、1982年、エニックス(現スクウェア・エニックス)主催の「ゲームプログラミングコンテスト」入賞。

アクションゲームが主流であった時代に『ポートピア連続殺人事件』(1983年)などの独特なゲームを手がけて成功を収めた後、ロールプレイングゲーム『ドラゴンクエスト』シリーズを世に送り出し、日本のテレビゲームの礎(いしづえ)を築くとともに、ゲーム業界に多大な影響を与えている。

「経済産業大臣賞」は、近年に制作・発表された作品の実績から日本の家庭用ゲーム産業の発展に寄与したと評価される人物や団体を表彰するものです。世界に誇る日本の主幹産業であるゲーム産業の成長・発展に寄与し、多大なる貢献をされた「人物」を称える唯一の賞として、経済産業省後援のもと、日本ゲーム大賞選考委員(選考委員長・養老 孟司 東京大学名誉教授・北里大学教授)による厳選なる審査の結果、決定しました。

なお、第1回目の受賞者は、任天堂株式会社、宮本 茂 氏、第2回目は、株式会社カプコン モンスターハンター開発チームの皆様が受賞されました。

「日本ゲーム大賞」公式サイト:<http://awards.cesa.or.jp/>

「日本ゲーム大賞」年間作品部門に関するお問い合わせ先

「日本ゲーム大賞事務局」(CESA事務局内)

電話:03-3591-1431/ FAX:03-3591-1422 / E-mail:awards@cesa.or.jp